

主な輸出先国	シンガポール、米国他	輸出実績	1,600t（2023年）
対象となる地域	茨城県常陸大宮市・常陸太田市・ひたちなか市・那珂市・水戸市・笠間市・東茨城郡城里町・茨城町・行方市・つくば市・つくばみらい市・龍ヶ崎市・稲敷市・石岡市・稲敷郡河内町・桜川市・筑西市・下妻市・常総市・坂東市・結城郡八千代町・猿島郡五霞町		

輸出産地の概況

- ・国内米の需給安定、生産農家の所得向上に資するため、日本産米の海外における需要の増加を背景として、平成28年度より8名の生産者が中心となって輸出の取り組みを開始。
- ・茨城県内産地と連携（現在約110名の生産者）と輸出に取り組んでいる。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・コスト削減と現地需要量に対応するための物量の確保のため、多収品種の栽培やドローン等のスマート農機の活用による低コスト化を進めている。
- ・補助事業を活用して精米プラントと定温倉庫を整備し、欧米諸国の輸出先から求められるFSSC22000を取得し、品質や食品の安全性を満たした精米の生産・販売を進めている。

アピールポイント

- ・海外に直接輸出が可能であり、日本産米が広がっていない地域（メキシコ、クロアチア、イスラエル等）にも積極的に進出している。



生産者が渡航した現地販売促進活動



ドローンを活用した播種作業